

患者様へ

研究課題名：当院における急性 A 型解離に対する Non-TAR 術後の遠位大動脈への手術介入

この研究は、通常の診療で得られたカルテ記録を使って行いました。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表する予定ですが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

データ収集期間：2008年12月～2021年12月

対象者：30～90歳代

当院で急性大動脈解離（A型）の手術を受けた方のうち、解離分類が DeBakey type I かつ偽腔開存型で、Non-TAR 術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、急性 A 型大動脈解離に対する全弓部置換(TAR)の適応が拡大しています。しかし、当院における基本術式は、エントリー（破綻部位）切除を原則としており、置換範囲を決定したうえで、超低体温循環停止下の遠位側吻合としております。

当科の Non-TAR 術後の遠位大動脈への介入症例について、カルテ記録よりデータを収集して評価を行い、当科の方針の妥当性について検討しました。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様のご家族等で患者様の意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：患者特性、術中因子、術後因子、病院死亡、術後合併症、遠位側の大動脈への介入の有無等
個人情報とは特定できないよう、厳重に管理致します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。


ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

福岡徳洲会病院 心臓血管外科

医長 野上英次郎

 092-573-6622 (代)

(研究実施機関の長：福岡徳洲会病院 院長 乗富智明)

(2022年5月9日作成 (第1版))